

JIS

自転車組立作業方法

JIS D 9311-1994

(2005 確認)

平成 6 年 1 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

自動車航空部会 自転車専門委員会 構成表 (昭和63年7月1日改正のとき)

	氏名	所属
(委員長)	杉山量重	財団法人日本車両検査協会
	稲川泰弘	通商産業省機械情報産業局
	山田晋作	警察庁交通局
	飛田勉	工業技術院標準部
	豊増武志	有限会社ユタカ技術研究所
	服部四士主	財団法人自転車産業振興協会技術研究所
	村田兼房	財団法人自転車産業振興協会
	伊藤文一	財団法人日本消費者協会
	小澤福次郎	日本自転車軽自動車商協同組合連合会
	瀬尾宏介	国民生活センター
	高橋豊久	郵政省大臣官房資材部
	鳥山新一	鳥山研究所
	西堀雄三	全国児童乗物団体連合会
	丸山愛吉	日本自転車製造卸協同組合連合会
	天野源紀	丸石自転車株式会社
	田中興	日米富士自転車株式会社
	小林崇利	新家工業株式会社
	斉藤節夫	ブリヂストンサイクル株式会社
	佐々木宏	社団法人日本自転車工業会
	堂岡肇	ナショナル自転車工業株式会社
	山崎利門	宮田工業株式会社
	三枝繁雄	製品安全協会
	田中修	通商産業省通商産業検査所
(関係者)	小倉建昭	社団法人日本自転車工業会
	成瀬勝夫	日本自転車タイヤ工業組合
(事務局)	江口信彦	工業技術院標準部機械規格課 (昭和63年7月1日改正のとき)
	牛島宏育	工業技術院標準部機械規格課 (昭和63年7月1日改正のとき)
(事務局)	笹尾照夫	工業技術院標準部機械規格課 (平成6年1月1日改正のとき)

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和38.7.1 改正：平成6.1.1

官報公示：平成6.1.11

原案作成協力者：社団法人 日本自転車工業会

審議部会：日本工業標準調査会 自動車航空部会 (部会長 丸茂長幸)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部消費生活規格課(☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自転車組立作業方法

D 9311-1994

Assembling of bicycles

1. 適用範囲 この規格は、JIS D 9111に定める一般用自転車のうち、主としてスポーツ車の組立に用いる作業方法（以下、S系作業という。）及び軽快車の組立に用いる作業方法（以下、R系作業という。）について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS D 9111 自転車の分類と諸元

2. この規格は、上記以外の自転車の組立作業にも準用することができる。

3. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって参考として併記したものである。

2. 作業方式 作業方式は、1台の自転車を1人の作業者が定位置で組み立てる方式（単独定置作業方式）とし、S系作業では組立台を用い、R系作業では組立台を用いない場合について定める。

3. 部品構成 S系及びR系で組立を行う自転車の部品構成⁽¹⁾は、表1のとおりとする。

注⁽¹⁾ 自転車の部品仕様と作業方法との相互関係を明らかにするための一例である。

表1 部品構成（例）

部分分類	部品名	S系作業（スポーツ車）	R系作業（軽快車）
車体部	フレーム	ダイヤモンド形、逆づめ、アウト受直付け、ポンプペグ直付け、ダイナモブラケット直付け	スタックード形、正づめ、錠落下・回転防止（凸部）付き
	シートポスト	一本ポスト	
操だ（舵）装置	ハンドル	ドロップ形	レバー付き形
	にぎり	バーテープ（裏のり付き） エンドキャップ	JIS2形
駆動装置	ギヤクランク	コッタレス形ナット止め ダブルギヤクランク	コッタード形 シングルギヤクランク
	ペダル	一般用ペダル	
	チェーン	$1/2 \times 3/32$ 、継手なし	$1/2 \times 1/8$ 、クリップ形継手
	フリーホイール	多段（5段）フリーホイール	普通フリーホイール
走行装置	前車輪用ハブ	普通前ハブ（以下、前ハブという。）、通しスポーク穴、玉押しロックナット付き	
	後車輪用ハブ	普通後ハブ（以下、後ハブという。）、引掛けスポーク穴、玉押しロックナット付き	
		多段フリーホイール用オフセット付き	バンドブレーキ用ねじ付き
	リム	前・後 $26 \times 1\frac{3}{8}$ WO、36穴	